

3/11 スタディサポートについて

各学年の担当の先生から伝達されていますが、3月11日(月)に「スタディサポート」が実施されます。今回から Web 入力で行いますが、本校でははじめてのことです。不備などもあるかと思えます。わからないことや、聞き逃したことがあったら、先生方にすぐに申し出てください。

とりあえずみなさんに伝えておきたいことは以下の3点です。

- ・早めに「マナビジョン」にログインできるか確認しておくこと(もちろん、指示通された作業も早めに済ませましょう)
- ・3月11日の朝には ChromeBook の充電を 100%にして持参(スタディーサポート中に充電切れは困ります)
- ・当日は、問題を解いた後で ChromeBook に入力をする(マークシートのかわりです)

なお、スタディサポートは、進研模試などの模試と違い、高得点を目指したり、全国順位を競ったりするものではありません。現段階での自分自身の学習の「ヌケ・モレ」をチェックするものです。そのため、全国での実施時期がバラバラです(絶対に問題流出させないでください)し、問題数が普通の模試より多めになっています。対策問題集があるのも特徴ですね。以前、ベネッセの担当の方に聞いたことがあるのですが、「進研模試」は、差をつけるために、難しい問題を混ぜて満点をとりにくくしているが、「スタディサポート」は、できれば満点をとってほしい問題を出题しているそうです。

もちろん、なかなか満点はとれませんが、できなかった問題が、自分の「ヌケ・モレ」ということになるので、模試に比べて復習の効率がよいです。しかも、今回の Web 入力だと、即日で採点がされる(後日、印刷された個人票も来ます)ので、自分の弱点を知る良い機会だと思います。せっかく受けるのですから、自分にとってプラスになるような活用をしてみましょう。

ただいま、国公立前期試験真っ只中

2月25日(日)から国公立大学の前期試験日程に入りました。多くの大学は25日のみ、2日間日程の場合には、26日にも試験が実施されました。今年は3連休にぶつかったので、宿泊して試験を受ける人は宿をとるのが大変だったかもしれません。ちなみに、前期試験が2月25日からというのは、毎年同じです。みなさんは自分の受験カレンダーを把握していますか?2025年の2月25日は火曜日、2026年は水曜日です。平日だと、受験のための宿は、比較的とりやすいかもしれませんね。

さて、家庭学習期間に入ってから、図書室や教室で受験勉強をしていたり、課外に出ていたりした3年生をよく見たと思いますが、そういった人たちが、今まさに力を出し切った頃です。ここから、だんだんと3年生の姿を見るのが少なくなり、卒業式を過ぎると、完全に新年度のモードに入りますね。受験に立ち向かう新3年生、文理それぞれの道を進んでいく新2年生として、これから新入生に、卒業生のような背中を見せてあげる準備をしてください。

私立文系入試に数学必須化の流れ について (「High School Times」)

時々学校に送られてくる「High School Times」という新聞があります。各クラスに配布しています。何の気なしに開いたら、インデックスに「私立大文系入試に数学必須化の流れ」という見出しがあり、ちょっと気になったので、記事を開いてみました。ちなみに、この記事は、職員室前の掲示板や、進路室前のホワイトボードに掲示してあります。

さて、その記事のリード文です。

「近年、文系学部で数学を必須とする入試を行う私立大学が増えています。早稲田大の政治経済学部が、2021年度入試から数学を必須科目としたことは大きな話題となりました。さらに慶応大の経済学部、上智大の経済学部、中央大の法学部・国際経営学部、青山大の経済学部などでも数学必須の入試方式を採用しています。…」(High School Times 第19巻第4号(89)より)

この記事でも経済学部や経営学部、商学部では数学が必要であることや、近年文理融合型の学部が注目されていることが紹介されていました。「進路室の窓から」で以前紹介したものとほぼ同じで、特に目新しい話ではないですが、改めて文系での数学の重要性が確認できる記事でした。他の記事も読んでみたのですが、パレスチナ問題や、クマ被害など、案外面白い記事が多かったです。各教室にありますし、進路室前にも残部があります。興味があれば持って行ってください。